

電力技術研究所 関グループ長が市民公開講座で講演

1月16日、名古屋大学にて、「電気でファッションブルライフ、あなたも今日からエコロジスト」と題して、市民公開講座が行われました。これは一般市民の方に電気への理解を深めていただくことを目的に、名古屋大学エコトピア科学研究所が主催しているもので、平成18年10月の初回開催から数えて、今回で6回目となりました。

当社からは、電力技術研究所お客さまネットワークグループの関グループ長が講師として招かれ、「災害に備えて - 電気を安全にお使いいただくために - 」というテーマで講演いたしました。実際に災害が発生したときの復旧エピソードや体験談などを交えながら、台風や地震などの災害に備え、当社が実施している設備対策につい

て紹介するとともに、災害が起こったとき、電気設備に接する場合の注意点などについても説明しました。

講演終了後の質疑応答は、予定されていた時間を超えてしまうほどの多くの質問があり、今回の講座も大盛況なものとなりました。



関グループ長の講演

「コンパクトキューブ」が省エネ大賞を受賞

当社エネルギー応用研究所が、三菱電機(株)殿、関西電力(株)殿と共同開発した空冷式ヒートポンプチラー「コンパクトキューブ」が省エネ大賞省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。

受賞した「コンパクトキューブ」は、ビル・工場向け冷房用冷水または、暖房用温水を効率よく製造する機器です。熱交換器や散水方法の最適化やインバータ駆動スクロール圧縮機の採用等により年間エネルギー消費効率を従来機に比較して約30%向上しました。また、機器を大幅にコンパクト化し、設置面積では従来機に比較して約20%削減しております。

ガス吸収冷温水機から「コンパクトキューブ」にリニ

ューアルすると、年間CO₂排出量を51%削減(名古屋市での試算値)でき、地球温暖化防止に貢献します。

なお、「コンパクトキューブ」は、三菱電機(株)殿が発売しています。



開発を担当した櫻場チームリーダー、中山研究員(左より)



コンパクトキューブ

「あいち臨空新エネルギー実証研究エリア」開所式にて、神田知事に研究取組をPR

2月7日に愛知県主催による「あいち臨空新エネルギー実証研究エリア」の開所式が行われました。開所式には神田愛知県知事や石田資源エネルギー庁長官をはじめ多くの来賓が出席され、当社からは田中技術開発本部長が出席しました。

電力技術研究所では、同エリアにてバイオマス利用スターリングエンジン発電に関する本格的な実証試験を、本年6月から開始する予定です。

式典後、PR施設「新エネ体験館」内の当社展示ブースでは、田中本部長が神田知事や石田長官に対し、当研究所の実証試験の取り組みをご説明し、高い関心を得ることができました。

エリアに関しては、下記ホームページをご覧ください。
<http://www.chuden.co.jp/torikumi/study/index.html>



開所式にて当社展示ブースを神田知事に
ご説明する田中本部長